

みあさづくり



美麻地区振興計画を答申

美麻地域づくり委員会は、今年6月に地域の少子高齢化・や人口減少が進む中、持続可能な美麻地区の振興について市長より意見を求められました。

委員会では、地域の抱える課題や住民ニーズの変化について住民意識調査の実施等を通じて検討してきた内容を「美麻地区振興計画」としてまとめ、12月17日（木）に牛越市長に提出しました。

傘木会長からは、「住み慣れた地域で暮らし続けられる美麻地区を維持するため、地域コミュニティ機能を保つ

ために必要な『小さな拠点』の形成を推進していただきたい。」との意見が添えられました。

今回提出された計画の内容は、今年度で期限切れとなる過疎地域自立促進特別措置法（過疎法）に代わる新しい法律に基づき策定される大町市の計画に反映され、今後10年間の過疎対策事業に活用されることとなります。



2021. 1



facebook



ホームページ美麻Wiki

《 地域の話題 》

美麻地区 今後10年の振興計画まとまる

(計画の内容は、次号以降の広報で改めてお知らせします。)

美麻地域づくり委員会では、本年6月に大町市長からの「美麻地区の振興について」諮問を受けた内容について、今後10年間の美麻地区振興計画として取りまとめました。計画の概要は次のとおりです。

1 これまでの過疎対策の評価・検証

これまでの過疎対策事業は、住民生活に大きな成果をもたらしましたが、若年層を中心とした人口減少には、なお歯止めがかからない状況にあります。

人口減少が継続している状況を踏まえ、引き続き対策を講じていく必要があることを確認しました。

2 人口推計と人口動態

美麻人口は10年後には767人、40年後には381人まで減少していく推計結果となりました。

今後10年間で15%以上の人口減少が見込まれ、若い世代を中心とした人口減少が様々な地域活動に影響を及ぼすことが心配されます。



3 地域の自立促進の基本方針

(1) 基本的な考え方

人口減少社会においても「誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられる美麻地区」の形成を目指します。

(2) 基本施策

コミュニティ機能の維持に必要な施策を地域振興の柱として展開します。

- ① 移住を促進させる施策
- ② 定住を促進させる施策
- ③ 地域の担い手を育成する施策

5 重点プロジェクト

住み慣れた地域で暮らし続けられる美麻地区維持していくために「小さな拠点」及び「地域運営組織」の形成を活用した取組みを推進します。



定住人口800人の維持を目標とします。

小さな拠点運営組織について 検討会に参加いただける委員を募集します。

美麻地域づくり会議では、地域の活性化や生活支援サービス等を行うために設置する「小さな拠点運営組織」の内容や運営方法を検討いただく公募委員を次のとおり募集します。

■ 公募委員の役割

美麻地域づくり会議の代表として、市の設置する小さな拠点運組織の内容を検討していただけます。令和3年3月末までに2～3回の会議が予定されます。会議は平日夜間開催予定です。

■ 応募要件

持続可能な地域づくりの実践に意見やアイデアをお持ちの方で、次の1～3のいずれかの要件を満たす人

- 1. 美麻地域づくり会議会員
- 2. 自治会に加入している人

募集中!



■ 募集人数 若干名

■ 募集期限 令和3年1月15日(金)

■ 応募方法

申込用紙(別紙)に必要な事項を記入の上、応募動機を800字程度(様式任意)にまとめ美麻地域づくり会議事務局へ提出して下さい。

■ 選考結果 応募者に通知します。

■ 申込・お問合せ先

美麻地域づくり会議事務局 TEL29-2311
電子メール info@miasa.info

《地域の話題》



源流からの鼓動二〇二〇
源流美麻太鼓の会

12月5日(土)大町市文化会館大ホール、源流美麻太鼓ばち納め演奏会「源流からの鼓動2020」を開催させていただきました。

コロナ禍ゆえ演奏会の開催について迷い悩む日々でしたが、思うように行かなかった中でも一生懸命練習を積み重ねてきたメンバーの為に、一年最後のばち納めだけははじめとしてしっかりと行いたいと考え、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行いながら、仮に無観客でも構わない覚悟で臨みました。

ところが、緞帳が開いたその先には大勢の市民の皆様、太鼓関係者の皆様の姿が！

私達がいかに多くの方々に支えられ活動できて

いるかを改めて痛感するとともに、感謝の気持ちを含めながら心ゆくまで演奏を楽しむ事が出来ました。

演奏会終了後、お客様から沢山の笑顔や「ありがとう」のお言葉を頂戴しましたが、こんな時こそ心の繋がりが必要であり、太鼓の力で皆さんに勇気や元気を送る事が私達の使命と再認識させられた一日となりました。

師走のお忙しい中足を運んでくださった地区の皆様、本当にありがとうございました。今後も応援のほどよろしくお願い致します。

(源流美麻太鼓の会 保科充志)

ふるさとへの思いを「手作りCM」にこめた決別の決意

あぶ・八十二 **ふるさとCM大賞** 予選通過！1月3日にテレビ放送

NAGANO

今年で二十周年を迎える「ふるさとCM大賞」に応募いたしました。第一次選考の結果、私たちの作品は最終審査に進める20作品のひとつに選考をいただいたため、12月6日に長野で開催された最終審査会に出席させていただきました。CMのテーマは大町市発祥の鳥獣被害対策のモンキードックです。モンキードックのことをご存じない方もおられるかもしれませんが、このCMはそのような方にも知っていただくため制作いたしました。もしかしたら、このCMをご覧いただいても、モンキードックの詳細はおわかりいただけないかもしれません。でも、そこはインパクトで勝負！ぜひ、モンキードックの名前だけでも覚えていただければと思います！

最終審査会の結果は、令和3年1月3日の午後4時から放送されるあぶ長野朝日放送の番組で発表されます。皆さん、ぜひご覧ください。



《 地域 の 話題 》



美麻小学校児童クラブです！

現在、1・2・3年生を中心に毎日5名から10名ほどの児童が放課後利用をしています。風が冷たくなってきましたが、夕方に帰ってくる子

供たちは元気いっぱい！！まず、宿題に取り組み、それから遊びの時間です。お家の方のお迎えまで、工作やレゴブロック、カードゲーム、チェスなどをしながら、おのおの楽しんで帰ります。今年は、梨嶺畑の芋ほりをさせていただいたり、梨嶺より七夕の笹を分けていただいたり、バスの運転手さんからはハロウィンカボチャをいただいたり、大塩の渡辺さんからは木材をいただき「糸掛け」の作品を作ることができました。地域の方々との交流も沢山させていただきました。支所の皆さんにも声をかけていただき感謝申し上げます。今年は支所入り口のクリスマスツリーの飾りつけをお手伝いしました。お立ち寄りの際にはぜひご覧ください。これからも、マムシやサル、熊に気を付けながら元気に学校から歩いてきますので温かく見守っていただきたいと願っております。

美麻児童クラブ 鈴木幸

☆かわいいリースできましたよ～☆

みあさ保育園の駐車場に生えていた“つる”と、支所と梨嶺の向かい側の斜面に生えていた“謎の草”で11月11日（水）に園児全員でリースを作りました。謎の草はスギの葉に似ていますが、「ヒカゲノカズラ」というシダ植物の一種で、ドライフラワーやお正月飾りにも使われているものでした。2mくらいの長さがあり、1000m以上の高地に生える植物だそうです。とても柔らかくて、子どもたちも「モフモフで気持ちいい～♡」と、触っていました。

まず、主軸から出ている枝を切ります。次につるを巻いて作ったリースに切ったヒカゲノカズラの主軸を巻いていきます。次に切った枝をさします。仕上げはいちばん楽しみにしていた飾りつけです。いろいろな種類の松ぼっくりやどんぐり、ドライフラワーなどがたくさんあったので、どれにしようかと目をキラキラさせて



選んでいました。どのリースも個性が出ていて、かわいいです。完成すると子どもたちは「楽しかったぁ♪」と満足気でした。（みあさ保育園）

年末の交通安全運動実施中！

12月15日から12月31日まで県下一斉に交通安全運動を実施しています。この運動の重点は、

- ①夕暮れ時・夜間の事故とスリップ事故の防止、
- ②自転車の安全利用と横断歩道の安全確保、
- ③高齢運転者の交通事故防止、
- ④飲酒運転・あおり運転の防止 の4点です。

年末を迎え夕暮れから夜間の事故や飲酒運転等の増加が懸念されます。交通ルールの厳守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故の防止を図りましょう。

(交通安全協会 美麻支部)

《地域の話題》

コロナ禍での 地区文化祭開催

美麻地区文化祭が令和2年10月25日（日）に開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、開催期間を2日から1日に短縮、さらに作品の展示のみとするなど、例年より規模を縮小して開催しました。来場者の減少が予想されるため、盛り上がりには欠ける心配もありましたが、幸い天候に恵まれ、また、オープニングの源流美麻太鼓による迫力ある演奏などで、活気のある催しとなりました。作品の展示数は少なめでしたが、どれも力作ぞろいで、学年で統一してお書きいただいたヤギの絵や、デイサービス利用者がお作りになった雑巾は、来場された方々から好評をいただいております。



コロナ禍で開催も危ぶまれた今年の文化祭でしたが、役員や関係者、さらには、ご協力をいただいた皆様のご尽力により無事に開催することができました。（文化祭実行委員会）

伝統行事で交流

毎年の恒例となっている餅つきとしめ縄づくりを12月2日（水）美麻総合福祉センター梨嶺で行いました。

【児童の感想】

2～4時間目を使い、初めに「お餅つき」後に「しめ縄づくり」をしました。最初のお餅つきでは、まずおじいさんと細井さんが、私たちがやる時にお米がとびちらないように、お米をまとめてくれました。それから少しだけお餅つきをしました。きねはけっこう重かったので力が入りました。後のしめ縄づくりではよじる《ねじる》のがポイントで、それを少しきつくやらないと「ゆるゆるのくしゃくしゃ」になってしまうのでむずかしかったです。美麻の文化とやり方が知ることができてよかったし楽しかったです。

学校の授業で「餅つきとしめ縄」を、「りんれい」でやりました。最初はしめ縄づくりをやりました。よじるのとかむずかしくて、めっちゃへたになってしまって、なんども北沢さんにたのんだのですがけっきょくは、ほほほほ、北沢さんにやってもらってしまいました。2つ目もむずかしくて最初はやってもらってけど、さいごの方はしっかりやることができました。餅つきはみんなで、ジャンケンボンまわしてしっかりつけたのでよかったです。お餅のできはどんなかんじか楽しみです。



《コミュニティ・スクールの話題》

子やぎさんの生と死と



11月14日(土)午後3時ごろ・・・幸ちゃんが子やぎ2頭を産みました。

駆けつけた子どもたちは「かわいい～」と満面の笑みで子やぎの誕生を喜びました。しかし、なかなか立ち上がれず、お乳をのめない1頭の子やぎは、飼い主にあずけることになりました。

幸ちゃんが子やぎを産んだことについて子どもたちは「かわいいと思った」「うれしかった」「びっくりした」「もう1匹にも早く会いたい」「お世話が大人

んになるなと思った」「子やぎが赤ちゃんを産むなんて思ってなかった」とうれしい気持ちと驚きの気持ちと不安な気持ちを語りました。

1頭はかわいい鳴き声を響かせて、幸ちゃんのお乳を飲んでいました。しかしもう1頭は・・・16日(月)午後2時ごろ、天国へと旅立ちました。生と死がいっぺんにやってきた現実。子どもたちは、死んでしまった子やぎに自分たちがしてあげたいことを考えました。生まれた場所にお墓を作ること、棺を作ってあげること、棺の中にお手紙や折り紙やお花のかわりに木や枯葉を入れてあげること、幸ちゃんにもう一度会わせることになりました。そして18日(木)、みんなでお別れをしました。みなさんと、この世に2日しか一緒にいらなかったけれど、多くの人に心配してもらったことや、お手紙や折り紙、そして立派なお墓を作ってもらう、子やぎさんは幸せだったと思います。そして、頑張っ立ち上がろうとする姿、幸ちゃんのお乳を飲もうと頑張っ歩く姿、大きな声で鳴いて精一杯生きようとする姿、その姿はいつまでも私たちの心の中にあり、生き続けると思います。幸ちゃんの子として、みんなの所へ生まれてきてくれて、本当にありがとう。
(文責 3年担任 野本和幸)

ダメ！絶対に！

～薬物乱用防止教室～

薬物乱用防止教室を12月10日(木)に実施しました。今回は、5・6年生をランチルームで、長野県警察本部スクールサポーターの吉澤さんを、7～9年生は体育館で大町警察署生活安全課の中村さんを講師に迎えての学習です。

5・6年生の内容は、「①薬物って何、②違法薬物って何だろう、③違法薬物の恐ろしさ、④違法薬物をやっ

てみる?、⑤DVDを観て復習、⑥お酒とたばこの話、⑦インターネットの危ないところ」の7項目を画像や動画と講師のお話で学習しました。

7～9年生は「薬物の乱用、薬物乱用の悪影響、薬物の危険性」を、DVDの動画を鑑賞し、講師の話听取了きました。「薬物は絶対にやってはいけない」というメッセージが伝わる学習でした。

両会場共に子どもたちの、真剣に取り組む姿が印象的でした。

ジビエを食べる

6年生は総合的な学習の時間の授業で『美麻の宝物』を五感を使いながら探しています。今回は、味覚を働かせる活動で11月13日(金)にジビエを食べました。

スクールパートナーズの種山さんにジビエ(鹿と猪のお肉)を、6年の保護者の方にバーベキューコンロを用意いただきました。

子どもたちは、種山さんから野生動物の捕獲の仕方などについてのお話を聞いて、興味を持ったことについては質問していました。そして、美味しいものや、硬くてなかなか呑み込めないものなど、それぞれの香りや歯ごたえを感じながら、煮込んだ鹿のスペアリブや焼いた猪などを食べました。「特に匂いはしない。」「少し硬いけどおいしい。」「とてつもなく硬くて、ちょっとしか食べられない。」「血の匂いがする。あまり好きではない。」など感想を口にしながら用意さ

れた様々な部位のジビエを口にしました。また、ただ食べるだけではなく、野生動物の生命に感謝する気持ちも教わりました。

今回の授業では美麻の野生動物のことを、食べることで学習しました。学校でジビエを焼いて食べるという貴重な体験をさせてもらったのは、美麻の凄さがなせることだと思いました。(6年担任 志水宏靖)



《コミュニティ・スクールの話題》

美麻移住推進計画

～美し村開拓プロジェクトに協力～

7年生は美麻地区を住みよい地域にしたいという願いから、総合的な学習の時間「市民科」において、「環境保全」「移住推進」「観光」「PR」の4つのグループに分かれて課題を解決しながら学習を進めています。

そして、11月17日（火）の美麻への移住を進めるための学習では、美麻地域づくり会議さんから声をかけていただいたことをきっかけに、「移住推進」グループが「美し村開拓プロジェクト」の一端を担わせていただくことになりました。以下は、生徒の感想です。「今日は古民家を片づける準備をしました。とても大変だったけどきれいになりました。草を刈ったり木を切ったりして、1歩前進しました。」（文責 宮下映美）



大町民話の里づくりもんべの会

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～



口碑伝説「四」新行のお話

権現山の埋蔵金

権現山に埋蔵金が隠されているという伝説が古くからある。ある夜、古老の夢枕に、立派な鎧兜をまとった武将が立った。「朝日射す、夕日輝く三つ葉ウツギの下に黄金あり。」

「我は、越中富山の城主佐々成政と申す。十二月、雪の針ノ木峠を越え、浜松へ向かう途中、雪の中難渋いたし、大出の猟師に救われた。」

ようやく命をつなぎ、浜松へ上がるのに持参いたした軍用金が邪魔になり、この地の権現山に埋めてある。」という。

山中を掘り探したものがいるが、「銀の鍬形（兜の上飾り）」がひとつ出てきた。ほかには何も出てこなかった。（美麻村誌より）



権現山堂屋敷の礎石
市文化財センターにおける発掘調査時

焼けた痕跡のある礎石落人狩りか、後から来た豪族によって屋敷を焼き払われたと思われる。



権現山堂屋敷（長者屋敷）

敷石が9尺（約3m）ごとに置かれ、正方形に並べられている。当時は約3間真っ角の屋敷がつくられていたと思われる。井戸を掘ったと思われる跡も残っている。

昔、源平の戦いの頃、平家の落人がここへ住みついたともいわれる。また一説には、仁科氏の残党が木崎から山中を見つからないように落ちて、権現山に住みつき、小さな館を構えたとも伝えられている。（美麻村誌より）

《地域の話題》

美麻の花豆売れ行き好調

美麻で栽培された花豆を大塩の「さくら」を利用して
いる方々に選別していただき、いーすら大町特産館・J
A大北えっこの里・Aコープファーマーズ店の3店舗
で試験販売をしています。

試験販売は、花豆の6次産業化に向けて、手にとって
もらいやすいパッケージを研究する中で、従来のビニール
袋を調理レシピ付きの紙パッケージに変更したところ、
今迄に90袋ほど売れるなど、なかなか順調な売れ行き
です。また、美麻小中学校の8年生の皆さんも、授業の
中で実際に花豆を栽培したり、販売方法や他の地域の情
報を聞いたりするなど、花豆の特産品化に向けて勉強を
しています。花豆を美味しくいただくためのレシピも年々
アイデアは増えてきています。その反面、材料となる花
豆は不足しています。



旧パッケージ

新パッケージ

ぜひ、栽培にご協力をいただきたいと思います。花豆
栽培に興味のある方には、栽培方法などの説明をさせて
いただきますので、ぜひ事務局までご連絡ください。

(美麻地域づくり会議事務局 電話29-2311)

道の駅活性化&花豆おやきの試食イベントを開催

新型コロナウイルスの影響でイベントが縮小されるなか、3蜜に
ならない屋外イベントとして、10月31日(土)に道の駅「ほかほ
かランド美麻」東側斜面の環境整備を行いました。久しぶりに集ま
った参加者は、少しでも地域の活性化に役立ちたいとの思いで、カヤ
や雑木の整理と草刈り作業などに汗を流しました。作業中には、大
町市の東の玄関口として多くの方に訪れてもらうには「できれば、
年数回の作業が必要ではないか」などの意見も出ていました。

作業終了後には、青具の「猪乃源」さんが試作した「花豆おやき」
をお持ち帰りいただきました。また、総合学習で花豆に取り組んで
いる美麻小中学校でも試食いただくなど、地域の皆さんの意見を聞
きながら、商品化に向けて研究を重ねていきます。(事業部会)



メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会を開催

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たな
い中、12月3日に美麻公民館で全体会議を開催し、交
流事業の実施方針等を協議しました。

会議では、米国実行委員会のマーシーさんから、
『新型コロナの影響でK8スクールの生徒は登校して
いません。私達の多くが日本へ訪問することを望んで
いました。しかし、もう1年待ったほうが良いと思います。』
との連絡をいただいたことを報告しました。

協議の結果、メンドシーノ側の意向や子供達の安全
を配慮し、来年度の相互訪問交流の実施は見送り、ビ
デオレターやインターネットを活用した遠隔交流を実
施することとなりましたので、皆様のご支援をお願い
いたします。(メンドシーノ姉妹都市交流実行委員会)

オンラインイベントで 美麻コミュニティ・スクールの 取り組みが紹介されます

長野県などが主催するオンライン・イベント
「私たちが自洽る学び」で美麻地区の取り組み
が紹介されます。ご参加ください。

コミュニティスクールの可能性
～地域と学校で協働する学び～

【日時】令和3年1月17日

(10:30~12:00)

※詳しくは、ホームページで
ご確認ください。

[https://nagano.learnx.jp/
event/583/](https://nagano.learnx.jp/event/583/)



 Learn by Creation NAGANO

■ 編集・発行 美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info